

21まで生きるつもりなんてない!
 ハートの奥までT・S感覚!いま最高に楽しいアメリカン・ギャルズがやってきた!

★ラジカセ★ニューウェイブ★スニーカー★ロキシー・ミュージック
 ★Tシャツ★SEX★スージー・ワトロ★ロックEtc!

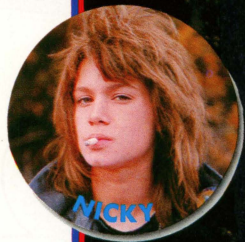
TIMES SQUARE



SUS
AS
OUT



HONOR
AMER



タイムズスクエア

(バーニー)トリニ・アルバラード★(ニッキー)ロビン・ジョンソン
 ティム・カリィ★ピーター・コフィールド



ドルビー・ステレオ [DOLBY STEREO] ★製作ロバート・スティグウッド★ジェイコブ・ブラックマン
 監督アラン・モイル★脚本アラン・モイル★リーン・アンガー★音楽プロデューサー/ビル・オークス
 サントラ盤LP・ポリドール・レコード★カラー作品★東宝東和提供

♡♡♡気分はもうT・S感覚!♡♡♡

タイムスクエア

TIMES SQUARE

タイムズスクエア

カラー作品★東宝東和提供★ドルビー・ステレオ DD DOLBY STEREO



まだブランドにこだわっているの?

T・Sギャルの“キワメツケ”10ヶ条

この夏、最高に楽しいアメリカン・ギャルズがやってくる!

「サタデーナイト・フィーバー」や「グリース」を覚えている? この「タイムズ・スクエア」は何とその名プロデューサーのロバート・スティグウッドが作ったのです。いま最もナウなアメリカン・ライフが生まれているタイムズ・スクエアを、そっくり真空パック。パツグンに楽しい映画が生まれました。音楽はもちろんファッションからライフ・スタイルまで、ボリューム満点のギャルズ・カタログといった感じ。そんなタイムズ・スクエアに飛び出したのがニッキーとパーミーという2人の少女。夢と冒険と、そしてちょっぴり涙の毎日は、もうハートがワクワクです。しかも、あの「ロッキー・ホラー・ショー」のティム・カリーがDJ役で2人を応援するなど、魅力たっぷりです。もうアメリカン・ギャルズは大拍手。主演はニッキーにロビン・ジョンソン、パーミーにトリニ・アルバード。2人ともまったくの新人なのだから、みんなとまったく同じ。さあ、タイムズ・スクエアに行かなくっちゃ。

- MAKE-UP** ★T・Sギャルなら化粧だってひと工夫。たとえばスミでワルの仮面スタイルなんかつくったりね。
- MUSIC** ★これはもう、どこにいたって欠かせない。ウォークマン、ラジカセで音はピンピン!テクノだって、ニューウェイブだって、ロックだってOKさ!
- FASHION** ★自分の工夫をモットーに大胆不敵。たとえば黒いビニール袋に首と手を通してN・Y感覚パツチりね!
- LIFE STYLE** ★やりたいことをやる。自由が最高。不良なんかじゃない。反抗なんかじゃない。いつも自分。そういうことさ。
- PLAY** ★お金なんかかけなくても、音があればそこがディスコ。友だちが集まれば、そこがパーティー会場って感じなのだ。みんな仲間さ!
- FOODS** ★気取った食事は嫌い。〈31〉のサンデーマック・シェイクなんかは主食って感じ。無理なダイエットはさようならさ。
- DREAM** ★「21まで生きるつもりなんてない!」ってのが合言葉。だから若いエネルギーは一気に全力疾走! 火花パチパチ、狂犬ギャルでいいじゃない。
- SPORTS** ★ローラー・スケート、ウインド・サーフィン、ヨットにテニスにジャズ・ダンス。いいネ。どンドン汗かっちゃ。気分はこういうことなんだ。
- SEX** ★好きと感じたらCまでいってもいいな。だけど男なんか信用しちゃうダメ。わたしたちの相手はやっぱり音楽、もうボーイフレンドなんていないな。
- FRIENDSHIP** ★女のこどうしの心の結びつきは大切だね。ひとりぼっちで淋しかったり、何かもの足りなかつたら、おいてよ「タイムズ・スクエア」へ!!

特別フログで〜す!

《T・Sギャルの徹底研究5原則》

- ★音楽どこでもラジカセ少女!
 - ★体ウキウキ! スニーカー・ティーンズ!
 - ★いつもより3cm浮遊感覚のウェッジ・ヒール・ギャル!
 - ★翔んでゴキゲン! フィーリング・ベイビー!
 - ★自由が最高! ロッキング・ガール!
- おとなし少女も、イタズラギャルも、何と全員が大集合してるのです!



★この中で、何人のアーティストの名前を知っているかな?

- 10以上……まいったネ。ホンモノのラジカセ少女だね。
- 5以上……音楽大好き少女。深夜放送でチョッピリ朝がナムイね。
- 3以上……ひとりぼっちのさみしがり。クヨクヨしないで、さあ翔んで!
- 1つだけ……まいったナ。これはもう「タイムズ・スクエア」を3回は見なくっちゃネ!!

ゴキゲン! ニューウェイブ・サウンドの数々!

- “ROCK HARD” — SUZI QUATRO
- “SAME OLD SCENE” — ROXY MUSIC
- “TALK OF THE TOWN” — THE PRETENDERS
- “DOWN IN THE PARK” — GARY NUMAN
- “HELP ME!” — MARCY LEVY & ROBIN GIBB
- “LIFE DURING WARTIME” — TALKING HEADS
- “PRETTY BOYS” — JOE JACKSON
- “I WANNA BE SEDATED” — THE RAMONES
- “BABYLON’S BURNING” — THE RUTS
- “YOU CAN’T HURRY LOVE” — D.L. BYRON
- “WALK ON THE WILD SIDE” — LOU REED
- “THE NIGHT WAS NOT” — DESMOND CHILD & ROUGE
- “INNOCENT, NOT GUILTY” — GARLAND JEFFREYS
- “GRINDING HALT” — THE CURE
- “PISSING IN THE RIVER” — PATTI SMITH GROUP (ほか)



6月20日(土) 奇ロードショー

伊勢丹前シネ・タウン
新宿文化シネマ2 (354) 2098